

## 在鸣门 第139期

### チャリティフェア 愛の心

11月23日、海外ボランティア支援カプラナの会が主催するチャリティフェアが徳島市ふれあい健康館で開催されました。カプラナの会は、モザンビーク等の海外で活動しているボランティアをサポートしているボランティア団体です。今回のチャリティフェアは第23回であり、バザーでの利益が支援金となります。

### 慈善义卖 大爱之心

11月23日，在徳島市“相亲相爱健康管”（徳島市生涯福祉中心）举办了由海外志愿者援助团体 KAPURANA 主办的慈善义卖活动。KAPURANA 是援助在莫桑比克等海外地区从事志愿活动人员的志愿者公益团体。本次的慈善义卖活动是第23届，义卖所得利润将成为海外援助活动的赞助金。

チャリティバザーは午前10時から午後3時まで開催されました。バザーでは、海外からの珍しい品、またボランティアの皆さんの手作りの品など数多くの品物が揃えられていました。私はどんぐりでできたトトロの手作りの品が気に入りました。これらトトロの工芸品は、ほとんどの原材料を山や公園から採ったものだそうです。皆さんが丹念に作り上げたものを見て、感動の気持ちで一杯でした。

慈善义卖活动从上午10点持续到下午3点。在义卖市场中，有来自海外的珍贵手工艺品，也有志愿者们制作的手工艺品等，商品种类繁多。我非常喜欢由橡子等材料制成的“龙猫”手工艺品。据说，这些“龙猫”工艺品的原材料，大部分是志愿者亲自从山林或者公园中采集而来的。我看到大家精心制作的各类工艺品时，感动之情油然而生！



午後1時からモザンビークでボランティア活動をしていた方による報告会がありました。報告会では、モザンビークの現在の様子、そこで開校された太陽中学校・高校についての状況を聞きました。太陽中学校・高校が1995年に開校されて以来、卒業生総数は1万人を超えました。大学に進出する生徒も年々増加し、国費留学生に選ばれ海外留学する者、医者や教師になる者など、優秀な人材を排出している学校に成長しているそうです。

下午1点，从莫桑比克返回日本的志愿者在会场进行了汇报演讲。志愿者为大家讲述了莫桑比克的现状，以及在莫桑比克建立的太阳中学（初中3年、高中2年）的发展状况。太阳中学自1995年建校以来，毕业生总人数已经超过1万人。该校在不断发展，升学至大学的学生人数年年增长，培养出了留学海外的国费留学生，以及医生、教师等优秀人才。

貧困の状況のなかでも、通学意欲が高い現地の子供たちに、さまざまな困難を乗り越え、貧困の子供たちに教育の機会を与えるため、一所懸命学校を運営してきたボランティアの皆さんに感心しました。

身处贫困处境但上学欲望依然不减的孩子们；为了给贫困孩子们接受教育的机会而克服种种困难、努力推进学校运营的志愿者们，他们都值得敬佩！

今回のチャリティフェアで、モザンビークを含めて海外で頑張っているボランティアの皆さんの強い信念と、チャリティフェアを開催した皆さんの愛の心を強く感じました。私も、周りの絆を大切に、今を大切に、頑張っていきたいと思います。

此次义卖活动，让我看到了在莫桑比克等海外地区从事援助活动的志愿者的坚定信念，也让我感受到了举办本次慈善活动的志愿者的友爱之心。我也要珍惜身边的羁绊，珍惜当下、努力向前。

## 第41回鳴門市芸能祭 ベジアート体験

11月25日午前、鳴門市文化会館で開催された第41回鳴門市芸能祭に行きました。会場は大勢の人が集まり、邦楽、ダンス、小唄等の出演や、美術工芸品の展示販売などで、賑やかな雰囲気に溢れていました。私は生け花体験コーナーの最新ベジアートに参加しました。今まで体験したことがなかったので、少し不安でしたが、スタッフの方に刺し方のコツを教えていただきながら、自分なりのベジアートにチャレンジしました。材料は全部野菜なので、使ったものを調理することもできるということです。まさに一石二鳥です。

## 第41届鸣门市艺术节 蔬菜艺术体验

11月25日上午，我前往鸣门市文化会馆观看了第41届鸣门市艺术节。会场众人聚集，日本传统音乐、舞蹈、小曲等表演，以及美术工艺品展示促销活动，让现场气氛热闹洋溢。

我在插花体验区体验了“最新蔬菜艺术”（以蔬菜为材料，用插花的技法插出具有艺术感的蔬菜盆景）。以前从未体验过，起初有些不安。但是，在工作人员手把手的指导下，我完成了自己的蔬菜艺术盆景。由于使用的材料都是蔬菜，因此使用过的蔬菜还可以做成料理。正可谓一举两得！



### 日中青年 平和を語り合う

11月25日、徳島日中青年交流協会が主催する第14回日中友好日本語懸賞論文発表会並びに平和問題シンポジウムが徳島県国際交流協会で開催されました。

第14回日中友好日本語懸賞論文弁論大会は、今年の9月16日に中国の東北大学外国語学院で行われました。そこで、大連外国語大学の李国超さん、東北大学の江山さん、瀋陽工業大学の辛建沢さんがそれぞれ最優秀賞、優秀賞、優秀賞を受賞されました。論文のテーマは「平和をつくり出すもの」であり、受賞された三人は自分の経験に基づき、平和を作り出すものを論じました。李国超さんが相手のことを「知りたい」気持ちに、江山さんが偏見のない価値観と人を愛する心をもたらず教育に、辛建沢さんが富を独占せず多くの人と分かち合う共存する志向に、焦点を入れて論じました。今回、受賞された三人は徳島県に招待され、徳島大学・鳴門教育大学の学生、また来場された徳島県民の皆さんと平和について話し合いました。

### 中日青年 共话和平

11月25日、由徳島县日中青年交流协会主办的“第14届日中友好日语获奖论文发表会暨和平问题研讨会”在徳岛县国际交流协会举行。

第14届日中友好日语获奖论文大赛于今年9月16日在中国的东北大学外国语学院举办。大连外国语学院的李国超同学、东北大学的江山同学、沈阳工业大学的辛建泽同学分别获最优秀奖、优秀奖、优秀奖。此次论文的主题是“催生和平的要素”，获奖的三名大学生结合自身

经历分别在相互交流、教育、经济方面论述了各自观点。李国超同学认为“想去了解对方”的内心意愿至关重要，江山同学认为“摒弃偏见的价值观和友爱他人”的教育传播至关重要，辛建泽同学认为“与他人共享财富”的共生志向至关重要。本次，三名大学生受邀来到德岛县，同德岛大学、鸣门教育大学的学生，以及来到会场的德岛县民众就和平问题进行了积极地讨论。



そもそも平和の対局には、戦争、経済危機、国家での争いがあり、ギリギリの所で成り立っています。個人ではなかなか解決できない問題だと思いますが、個人としては、個人同士を理解することができると思います。私は三人が論じたものが個人同士を理解し、平和を実行することに非常に大切だと思います。私は最初、日本に良いイメージを持ちませんでした。しかし、大学で日本語を勉強し、大学の日本人の先生と出会って初めて、「あ、日本人の先生って優しいな、中国人の先生と同じだ」と気づきました。それに、日本での一年間の交換留学を経て、現地の日本人とコミュニケーションをし、日本人の友だちが沢山増えました。今でも、日本には、中国の家族と同じく自分の仕事、生活を心配している先生や友達がいまいます。中国人にしても、日本人にしても、同じ感情を持っている人間であることを痛感しています。他の国の人との付き合いも同じだと思います。皆さん、是非自分が違うと思った人と付き合ってみましょう。

我个人认为和平本身是在战争、经济危机、国家间斗争等对弈极限状态中存在的。这是单独个人所无法解决的问题。但是，作为个人，个人之间的理解是可以做到的。我觉得在个人进行和平活动中三位大学生论述的要素是非常必要的。起初，我对日本没有很好的印象。但是，在大学学习日语的过程中，同日本外教老师接触之后我才突然发现，原来日本老师和中国老师一样亲切。之后，我有机会到日本留学一年。在那一年里，我与当地的民众互相交流，结交了很多日本朋友。如今，在日本，有同中国亲人一样时刻关心我的生活和工作的老师、朋友。因

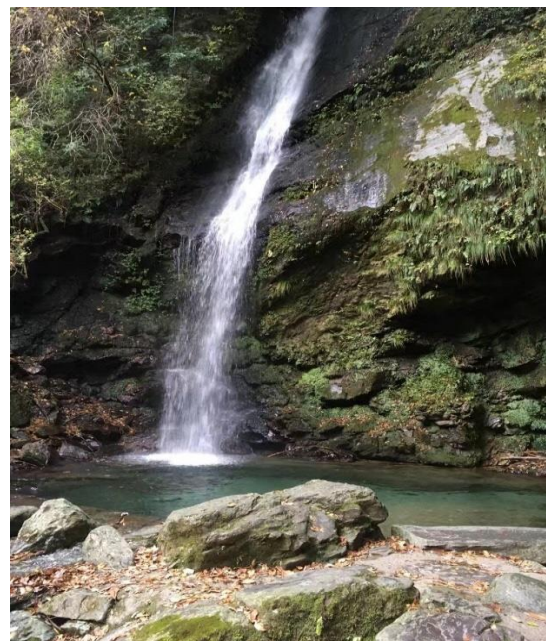
此，我深深地感受到：无论是中国人，还是日本人，大家都是富有感情的普通人。同理，我想与世界其他国家的人们进行交流也是一样的。朋友们，我们身边可能有很多跟自己不一样的人，让我们试着跟他们交往交往吧！

### 秋の祖谷 彩の山水

11月26日、徳島県三好市にある祖谷溪に行きました。初めて祖谷に行ったのは今年の夏でした。その時、祖谷の壮観な景色に魅了され、秋になったらまた祖谷に来たいと思いました。さすが山の中なので、寒く、紅葉がすこし落ちかけているところもありましたが、遠いところから壮観な山が目の前に現れ、ドキドキしました。目の前に一か所だけ紅葉が現れるだけでも大満足でした。山道を走るバスの中から、外を見ると、澄んでいる緑色の峡谷の水が見え、さすが祖谷だ、本当に癒される景色だと思いました。

### 秋天的祖谷 多彩的山水

11月26日，我去了位于德岛县三好市的祖谷溪景区。今年夏天，我第一次去了祖谷景区。当时，看到祖谷溪的壮观景色，我就想，待到秋天，我一定还要再来一次。不愧是高山之中，天气转冷，山上的红叶已经开始飘落。但是，当再次看到远处壮观的大山的时候，我内心激动不已。即使在眼前发现一处红叶，都令人满心欢喜。大巴在山中行走，坐在大巴上往下看，峡谷的水碧绿清澈，我不禁为祖谷的怡人景色感叹感动。



祖谷に来たら、かずら橋を渡らないとなんだかもの足りない気がします。そこで、かずら橋をもう一回渡ってみました。かずら橋を渡る観光客は相変わらず多かったです。ゆらゆらとしているかずら橋を渡るのは、私にとって勇気のいることでした。緊張しながら最後まで渡り終わると、達成感で一杯でした。かずら橋を渡り終え、前に歩いていくと、右側に琵琶の滝が現れました。琵琶の滝も相変わらず水量が多く綺麗な姿でした。その音を聞くだけで

も十分癒されると思います。

来到祖谷溪，如果不走过“葛藤桥”的话，会有“不过葛藤桥枉到祖谷溪”之感（“葛藤桥”是祖谷溪景区备受瞩目的景点，它由葛藤建成，行走过程中会有摇晃）。于是，我又走上了“葛藤桥”。“葛藤桥”上的游客依然很多。对我来说，摇摇晃晃往前走是需要很大勇气的。紧绷神经走完之后，顿时感到成就十足。走过“葛藤桥”之后，顺路往前走，右手边就是名为“琵琶瀑布”的瀑布。跟夏天一样，“琵琶瀑布”水量充足、姿态优美。即使只听听“琵琶瀑布”的倾泻之声，都足以治愈我们的内心。

その後、大歩危に移動し、初めて大歩危の遊覧船に乗りました。バスの上から峡谷を見ると深いですが、船に乗ってみると、周りの視野が結構広がったです。澄んでいる水を泳いでいる魚も見えます。すこし水の浅いところは、底の石も見えます。兩岸の彩の山など、この景色はまるで絵の中のようなようです。遊覧船に何回乗っても飽きません。贅沢な時間を過ごすことができ、ずっとずっと舟に居たいと思いました。

游玩了“葛藤桥”周边之后，我便乘车前往“大歩危”峡谷（据说因地势险峻，阔步行走极其危险而得名）。我第一次乘坐了“大歩危”峡谷的游览船。从巴士上远望峡谷的时候，感觉峡谷很深很窄，坐上游览船之后便发现视野甚为广阔。河水澄清，坐在船上可以看到水中的鱼儿，河水略浅之处，可以看到水底的石头。两岸山色怡人，我仿佛畅游在山水画中，这实乃人生之奢华体验。我不禁想一直坐于船上，一直身处这山水之中。



中国の唐の時代の詩人李白の詩に、「兩岸猿声啼不住 輕舟已過万重山」という詩句があります。兩岸の猿の声が鳴り止まないうちに、私の小さい船はすでに何万も重なっている山々を過ぎてしまったという意味です。小学校の時に勉強した詩なのですが、今回実際に大歩危の峡谷の中を船に乗って、初めて詩人李白の快適な気持ちが分かったような気がしました。そして、雪が降ると、また違う姿になるだろうと思い、雪の降る季節に、また祖谷に行きたいと思いました。

中国唐代诗人李白的诗句中有“两岸猿声啼不住，轻舟已过万重山”的诗句，即“两岸的猿声不断在耳边啼叫，我的小舟已经轻快地穿过了万重山脉”之意。这是我小学时候学过的诗句，如今亲身泛舟于这“大步危”峡谷之后，才真正地理解了李白当时的快意之情。在这美景之中，我又联想到降雪季节的祖谷溪定会呈现出另一番姿态，待到下雪时，我还想再约祖谷！



部门：鸣门市观光振兴课

地址：鳴門市撫養町南浜字東浜 170

(〒772-8501)

TEL：088-684-1746/FAX：088-684-1339

E-mail：[kokusai@city.naruto.i-tokushima.jp](mailto:kokusai@city.naruto.i-tokushima.jp)

编辑：翟羽佳